

ボランティア センター だより

\\ ステキなオリジナル作品ができました♪ //



作ったパズルを見せあいました♪



ボーカルのHanna Bunyaさんと一緒に

男女共同参画センターリブラ主催
「ゴスペル ライブ&トーク」受付・準備担当



ど〜んとかがし祭で「ふわふわ班」を担当

人や地域とつながるボランティア活動を

一緒にはじめましょう♪

小・中学生「筑前町ボランティア部」の活動を紹介します♪

7月から活動を始めた「筑前町ボランティア部」は、毎月1回の定例会とボランティア依頼に対応した活動を行っています。ボランティア部を通して、メンバーは、地域のさまざまな人に出会い、経験し、一歩一歩成長をしています。

今回は、ボランティア部のメンバーに、入部のきっかけや、印象に残ったこと、そして保護者からの声を紹介します。

ボランティア部の活動は、地域の人から、「子どもたちがいると元気が出る」や「世代を越えて交流できてうれしい」、「子どもたちとふれあい、刺激を受けた」など、プラスの効果が生まれています。

これからも、センターは、ボランティア部と一緒に、「できる人が、できるときに、できることを」を合言葉に、地域のボランティア活動をサポートしていきます。

筑前町ボランティア部とは
入部を希望した小・中学生が、地域や人とのつながりを通して「だれもが安心して暮らせる町づくり」を目指します。

質問① 入部のきっかけは何ですか。

- 4年生の時に総合的な学習で「ふくし」のことを学び興味を持ち、「楽しそうだな」と思い参加しました。(小学5年生)
- これまで町の「青少年ボランティアバンク」で活動していました。ボランティア部の案内を見ているんな活動してみたいと思ったのがきっかけです。(中学3年生)
- 友だちのお母さんから誘われて申し込みました。(中学2年生)
- 町で何かできる活動があれば「やってみたい」と思ったからです。(小学5年生)
- 最上級生になり何かしらチャレンジしたいと思っていたところ、学校でボランティア部募集のチラシをみてやってみたいと思いました。(小学6年生)



音楽会運営サポート

質問② 印象に残っている活動はありますか。

- 「防災運動会」は参加人数も多く、楽しく活動することができました。一緒に参加した家族とも家に帰って振り返ることができました。(小学5年生)
- 今回初めてボランティア活動に参加しました。これからも興味があるものがあったら参加していきたいです。(中学2年生)
- 夏休みに参加した「シニア向けスマホ教室」のサポートに入った時、地域のシニアの方との関わりができて楽しかった。(小学6年生)
- 「手話体験講座」の参加と「防災運動会」の運営サポートをしながら参加ができて楽しかった。そして災害時に必要なことが学べてよかった。(小学6年生)



わら編み手伝い

質問③ 保護者の思いを教えてください。

- 地域の中でいろいろな体験ができ、子どもが楽しく毎回活動をしています。これまで将来は何をしたいかと漠然としていたことが、活動に参加して将来のことを話すようになりました。
- 学校・年齢が異なるボランティア部のメンバーと知り合い友だちになったことは良かったです。
- 自分たちのできることで相手に喜んでもらえることを直接経験でき、自己肯定感や達成感につながっているような気がします。
- 家庭や学校では経験できない地域での活動が体験でき、視野が広がっているようです。
- ボランティア部の活動を通して、積極性が出てきました。



防災運動会運営サポート

特集②

地域の課題を考える！ 「野良猫問題」



センターにはこれまで地域の人から、野良猫に関する相談を受けてきました。「なぜセンターに相談があるの?」と思うかもしれませんが、それは、動物福祉に取り組む団体や、野良猫問題に取り組む個人ボランティアさんがセンターに登録しているからです。現在、登録ボランティアさんは、野良猫を保護する(引き取る)活動はしていません。

町内では、野良猫問題で悩んでいる人がいます。例えば、「敷地内に野良猫の子猫がいる」、「野良猫が敷地内にフンをして困っている」などさまざまです。その相談対応としてセンターは、登録ボランティアさんへつなぎますが、問題を解決するのは、ボランティアさんではありません。相談者(本人)が「どのようにしたいのか」と主体性を持ち関わってもらうことが大切になります。そのうえで、ボランティアさんは、相談者の思いに寄り添い、解決に向けて一緒に進めていきます。ボランティアのみなさんは、専門性、これまでの経験、ノウハウがあり、関係機関とのつながりがあります。この強みを活かすことが解決に向けての一步になります。

ぜひみなさんも地域の野良猫問題を自分のこととして受け止めて一緒に「できること」を取り組んでほしいです。そして、野良猫問題の解決に向けて、興味や関心がある人は、一緒に活動をしてみませんか。



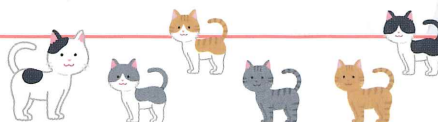
いっしょに
解決してほしい
ボランティア

さくら猫とは

飼い主のいない猫(野良猫)に不妊去勢手術を実施することで繁殖を防止し、「地域猫」や「さくら猫」として一代限りの生を全うさせ、飼い主のいない猫に関する苦情や殺処分の減少に寄与する活動です。

野良猫とは

野良猫(飼い主のいない猫)は、迷子になってしまった猫、人の都合で捨てられた猫、飼い猫に不妊去勢手術をさせずに外に出した子孫の猫のことです。



地域猫活動とは

飼い主のいない猫による糞尿や鳴き声などの問題を地域の環境問題として捉え、地域住民の合意のもと、その地域にお住まいの活動を行おうとする住民(活動グループ)が主体となって不妊去勢手術や一定のルールに基づいた餌やり、トイレの管理などを行います。(福岡県ホームページ参照)



猫の特性

猫は1年間に2~3回出産し、1回に5匹前後の子猫を産みます。不妊去勢手術をしないと、1年で10~15匹程増えます。

募集

筑前町立大刀洗平和記念館 戦跡ガイドボランティア募集

町内の旧陸軍大刀洗飛行場周辺には戦跡が点在し、飛行場と戦争を伝える貴重な実物資料です。大刀洗平和記念館とセンターでは、これらの戦跡をガイドしていただくボランティアを募集します。



①活動内容

修学旅行など団体から依頼のある大刀洗飛行場戦跡を巡るフィールドワークのガイド(30分~2時間程)

②募集期間

令和7年1月31日(金)まで

③募集人員

15人程度

④応募方法

電話・窓口・メールにて申込み

⑤応募条件

・興味や関心がある人
・事前研修(全4回)への参加

⑥研修日程

△第1回▽2月6日(木) 13:30~16:30
△第2回▽2月13日(木) 13:30~15:30
△第3回▽2月20日(木) //
△第4回▽2月27日(木) //

8月25日(日)「家族de作る・学ぶ♪ワークショップ講座」

夏休みに子育て世代の家族を対象としたワークショップを、朝倉市内で子ども向け工作教室を主宰している「もりかつひろ先生」を講師に迎え行いました。

20人(親子9組)の参加があり、親子で協力し、絵を描いてつくる「パズル」などを作成しました。参加者同士が、「どんな絵を描き、色を塗ったのか」などお互いに見せあって、話をしながら盛り上がりました。

最後に、親子で完成した作品を発表し、「いい作品ができたね～」と笑顔の絶えない交流の場となりました。



参加者Voice

- ・仕事をしていた家ではゆっくり工作できないけど、とても楽しかったし時間をつかって家でもしたいと思いました。
- ・出来上がりをとても嬉しそうにしている、保護者としても楽しかった。
- ・楽しんで取り組んでいました。クラスの友だちがいて楽しく話していました。

9月28日(土)「災害ボランティア講座」

災害ボランティアの役割・心得を中心に、災害復旧復興支援団体の「一般社団法人 螢火」の岩佐憲一郎代表と防災士の伊藤リカさんを迎えてグループワークを取り入れた講座を実施しました。

災害ボランティアに関心がある人をはじめ、町内登録の防災士の参加もあり、お互いに災害ボランティア活動としてできることや思い・考えを伝え合いました。日頃から地域や人とのつながりが大切だということと一緒に考える・感じる講座でした。

また、災害時に活動する専門組織(福岡 DWAT)の活動紹介があり、それぞれの役割を理解した上でお互いに協力し合い、被災地支援を考える機会になりました。

参加者Voice

- ・大規模災害が多く起きている最近、助け合うために知っておくこととしてどんなことがあるか聞いた。
- ・災害ボランティアの内容を詳しく知ることができてよかった。
- ・グループワークなど他地域の人と意見交換でき参考になった。
- ・ボランティアなど災害が発生してからの動きが垣間見えた。今後、防災・減災に関する講座なども効果的だと思う。



筑前町ボランティアセンター

〒838-0215

福岡県朝倉郡筑前町篠隈373

コスモスプラザ福祉館(筑前町社会福祉協議会内)

TEL:0946-42-4555

FAX:0946-42-5941

ホームページアドレス <https://chikuzen-shakyo.or.jp>

メールアドレス chiiki@chikuzen-shakyo.or.jp

発行編集/社会福祉法人 筑前町社会福祉協議会

